

やまなし 県議会 だより

九月定例会の概要

県議会は、平成三十年九月定例会を九月十九日から十月五日までの十七日間の日程で開きました。

開会日の提案理由説明で後藤斎知事は、本年に入り、本県ゆかりのスポーツ選手が大いに躍動し、二月の平昌冬季オリンピックでの菊池彩花選手の金メダル獲得、八月、ジャカ



8月6日開催の高校生議会に参加した生徒の皆様

ルタで開催されたアジア大会での江原騎士選手や鈴木聡美選手をはじめとした本県ゆかりの選手が素晴らしい成績を残されたこと、十月六日からアジアパラ競技大会には、走り高跳びの鈴木徹選手が日本代表として出場されること、また、八月、三重県で開催された全国高校総体では、山梨学院高校がサッカー男子で四十三年ぶりの優勝を果たしたほか、日川高校、吉田高校、日本航空高校でウエイトリフティング男子や空手の個人・団体で優勝者を次々と輩出していることに触れ、こうした選手の活躍は、県民にとって誇りであり、東京オリンピック・パラリンピック大会まで残り二年を切った中、大会出場が期待される選手がさらに力をつけ、世界の強豪を相手に大いに活躍されることを期待しており、スポーツ選手の育成に、より一層尽力していく考えを示されました。

また、県の障害者雇用において、算定方法が不適切であったことに加え、障害者雇用率が法定雇用率を下回ることが明らかになったことに触れ、県が先導役となり積極的に推進すべき立場であるにもかかわらず、不適切な処理をしたことについて、障害のある方々をはじめ、県民の皆様深くお詫び申

上げると述べられました。加えて、防災対策の推進、東京オリンピック・パラリンピックへの対応、七月に県議会として政策提言した人口減少対策、県立育精福祉センター児童寮への指定管理者制度の導入、不登校児童生徒への対応、安全登山対策など、当面する県政の課題への考えを示されました。

知事の説明を受けて、九月二十五日から二十八日の四日間、代表・一般質問を行いました。十月一日に農政産業観光、土木森林環境委員会、二日に総務、教育厚生委員会を開催し、付託案件や所管事項の審査を行いました。定例会最終日の十月五日には、議員提案した白ナンバーでのタクシー類似行為を容認する規制改革の自粛を求める意見書や総額十一億五千三百三十八万九千円の一般会計補正予算案など十九案件を可決、答申、同意しました。

九月定例会では、副議長に安本美紀氏(公明党、甲府市選挙区)を新たに選出しました。

安本美紀副議長 略歴
山梨大学卒業
平成十九年四月県議会議員初当選、以来三期連続当選。
山梨県議会農政商工観光副委員長、県監査委員を歴任。
甲府市羽黒町一五九一三六十四歳



山梨大学卒業
平成十九年四月県議会議員初当選、以来三期連続当選。
山梨県議会農政商工観光副委員長、県監査委員を歴任。
甲府市羽黒町一五九一三六十四歳

公正円滑かつ効率的な議会運営に尽力

このたび、九月定例会において、議員各位から御推挙のもと、第百二十七代議長に就任いたしました。このことは、私にとりまして身に余る光栄であり、身の引き締まる思いであります。

議会は、二元代表制のもと、広く県政全般の課題を把握し、県政に反映していく役割が期待されております。



河西敏郎議長

さらには、厳しく知事等執行機関に対して、県民目線で監視や評価などを行うチェック機能や、議員提案による条例制定など積極的に施策を実現する役割なども求められております。

第百二十七代 山梨県議会議長

河西敏郎

本県議会においては、歴代の議長をはじめ先輩議員の皆様のご御努力により、議会活動のバイブルともいえる議会基本条例の制定など多くの議会改革の取り組みが連綿と進められてまいりました。私も、こうした歴代の議長のご取り組みを継承・継承し、議会基本条例に基づき、議会の機能強化などにさらに努めるとともに、公正円滑かつ効率的な議会運営を行ってまいりたいと考えております。今後とも、県民生活の向上と地方自治の伸展を目指した県議会の積極的な取り組みに関し、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

河西敏郎議長 略歴

旧玉穂町議会議員、旧玉穂町長、中央市長職務執行者、平成十九年四月県議会議員初当選、以来三期連続当選。
第百十一代県議会議長、県議会総務委員長、同教育厚生委員長、県監査委員を歴任。
中央市成島二五三三 六十八歳

議会活動の紹介

議員研修の実施

大東文化大学副学長 浅野善治氏を講師に、議員の法制執務能力強化のための研修を実施しました。研修では、議会における条例提案や政策法務等について多くの意見が交わされました。



議員研修会の様子



9月定例会県議会では、9月25日から28日までの4日間にわたり、代表、一般質問が行われました。各議員の質問項目は次のとおりです。

代表質問

- 豪雨災害への対応
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み
- リニア中央新幹線の開業に向けた取り組み
- ミネラルウォーター税の導入
- 子どもの心のケアに係る総合拠点の整備
- 水素・燃料電池関連産業の集積・育成
- 台湾との交流の促進
- 果樹農業の振興に向けた新品種の産地化
- 耕作放棄地を活用した新たな特産農産物栽培への取り組み
- やまなしパワー

自民党誠心会 中村 正則



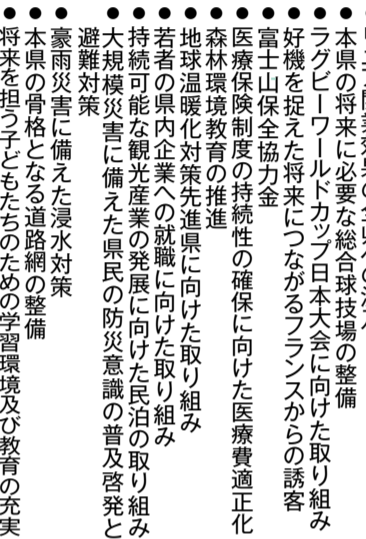
- 若者の結婚を支援する取り組み
- 世界遺産富士山の保存管理
- 障害のある方の雇用の確実な実施と活躍の場の更なる充実
- 防災対策における自助・共助の推進
- 介護人材の確保・定着
- 自殺防止対策の推進
- 企業・団体による森づくり
- 東南アジアでのトップセールスにおける取り組みと成果
- 登山の安全の確保に関する条例に基づく安全登山推進区域
- 猛暑に対する農作物の安定生産対策
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取り組み
- 甲府工業高校の全日制専攻科の特色と県内企業への働きかけ
- ICT教育の推進

自民党誠心会 渡辺 英機



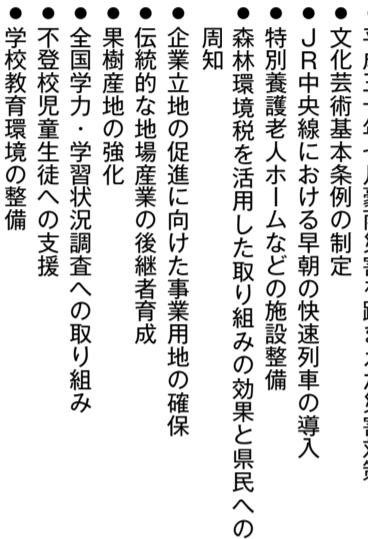
- 経済的な効果に着目したリンケージ人口の在り方
- リニア開業効果の全県への波及
- 本県の将来に必要な総合競技場の整備
- ラグビーワールドカップ日本大会に向けた取り組み
- 好機を捉えた将来につながるフランスからの誘客
- 富士山保全協力金
- 医療保険制度の持続性の確保に向けた医療費適正化
- 森林環境教育の推進
- 地球温暖化対策先進県に向けた取り組み
- 若者の県内企業への就職に向けた取り組み
- 持続可能な観光産業の発展に向けた民泊の取り組み
- 大規模災害に備えた県民の防災意識の普及啓発と避難対策
- 豪雨災害に備えた浸水対策
- 本県の骨格となる道路網の整備
- 将来を担う子どもたちのための学習環境及び教育の充実

チームやまなし 早川 浩



- 平成三十年七月豪雨災害を踏まえた災害対策
- 文化芸術基本条例の制定
- JR中央線における早期の快速列車の導入
- 特別養護老人ホームなどの施設整備
- 森林環境税を活用した取り組みの効果と県民への周知
- 企業立地の促進に向けた事業用地の確保
- 伝統的な地場産業の後継者育成
- 果樹産地の強化
- 全国学力・学習状況調査への取り組み
- 不登校児童生徒への支援
- 学校教育環境の整備

リベラルやまなし 古屋 雅夫



一般質問

- 女性の活躍推進の取り組み
- 依存症対策の推進
- 在宅医療を支える体制の強化
- 甲武信ユネスコエコパークの登録推進
- 上野原市における地域農業の活性化
- 県東部地域の道路整備

石井 脩徳 (自民党誠心会)

- 食育推進全国大会の開催と食による地域活性化
- 織物産地の新たな挑戦への支援
- 県道留道志線の歩道整備
- 県道富士吉田西桂線の西桂町内の道路整備
- 国際パカローラ教育の推進
- 電話詐欺被害防止対策
- 女性警察官の活躍に向けた取り組み

水岸 富美男 (チームやまなし)

- やまなし観光推進機構の取り組み
- 県が管理するダムにおける豪雨対応
- 北方領土等領土問題と新学習指導要領
- JICAと連携した中小企業の海外展開支援
- 耕作放棄地対策

山田 一功 (自民党誠心会)

- 大規模災害時における被災後の対応
- 豪雨災害時の流水対策
- 共生社会の実現
- 森林の保健休養機能の活用
- 路面標示の補修整備
- 効果的な情報発信に向けた取り組み

上田 仁 (チームやまなし)

- リニア駅近郊のまちづくり
- 児童虐待の防止対策の強化
- 親亡き後を見据えた育精福祉センター児童寮への指定管理者制度の導入

塩澤 浩 (自民党誠心会)

- ジェネリック医薬品の使用促進
- 小規模企業の支援
- 外国人留学生の県内企業への就職に向けた取り組み
- 本県における河川の維持管理
- 本県における電線類の地中化
- 通学路における子どもの安全対策

桜本 広樹 (自民党誠心会)

- 教員OB及び警察OBの地域社会での活躍に向けた意向調査
- 南アルプス市内の大和川、塩沢川、漆川砂防事業
- 一級河川横川の伏せ越しの改修と維持管理
- 県道葦崎南アルプス富士川線の南アルプス市内における歩道整備
- 早川芦安連絡道路の芦安側の整備
- 中部横断自動車道における工事費の削減案の提示
- 人口減少対策に関する政策提言の実現のための公益法人の設置
- 東京オリンピック自転車競技ロードレース後の取り組み
- 総合防災情報システムを活用した新たなシステム整備
- 介護人材確保のための職場体験者への支援金支給制度の導入
- 山梨県ごみ処理広域化計画の県民への周知
- 果樹農家の経営安定
- 県道葦崎南アルプス富士川線の小笠原橋とその周辺整備

- 知事の政治姿勢
- 県の障害者雇用の「水増し」問題
- 学校での男女共同参画の推進
- 入札制度の改善
- 防災、洪水対策
- 介護保険の保険料、利用料
- 重度心身障害者医療費助成制度の窓口無料復活
- 子育て支援
- 交通弱者の移動手段の確保

小越 智子 (日本共産党)

- 所有者不明土地問題
- ラグジュアリー・ツーリズムの促進
- スポーツビジネスで稼げる県づくり
- 甲府市と連携した移住促進
- テレワークをはじめとした県庁職員の働き方改革の推進
- やまなしIoTラボの今後の展開

宮本 秀憲 (自民党誠心会)

- 被災者の心のケア
- 要介護認定の状況と介護予防への取り組み
- 峡東地域の日本遺産認定を生かした観光振興
- 山梨市における果樹農業の振興
- 果樹農業の担い手の確保
- 学力向上対策

乙黒 泰樹 (自民党誠心会)



● 可決された主な議案

- 山梨県附属機関の設置に関する条例中改正の件
- 山梨県議会議員及び山梨県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件
- 山梨県個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例中改正の件
- 山梨県養護老人ホームに関する基準を定める条例中改正の件
- 山梨県建築基準法施行条例及び山梨県の事務処理の特例に関する条例中改正の件
- 平成三十年度山梨県一般会計補正予算
- 平成三十年度山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算
- 平成三十年度山梨県流域下水道事業特別会計補正予算
- 議員派遣の件
- 可決された意見書
- 「ライドシェア」と称する白ナンバーでのタクシー類似行為を容認する規制改革の自粛を求める意見書
- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 「探採された請願
- 「ライドシェア」と称する白ナンバーでのタクシー類似行為の容認を旨とした規制改革の自粛に関する意見書の提出を求めることについて
- 私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書の提出を求めることについて

議案等に対する議員別の賛否は、ホームページでご覧いただけます。



ホームページ 会議録をご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、お住まいの市町村役場等でもご覧いただけます。



<http://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html>

委員会レポート

総務委員会

委員長 水岸富美男



やまなし移住・定住 総合ポータルサイト構築事業費

問 新たに開設する移住・定住総合ポータルサイトの特徴は何か。また、情報発信にあたってどういった点に配慮していくのか。

答 新しいポータルサイトの特徴として、主に若者に向けたスマートフォンで閲覧しやすいデザインや、フェイスブックなど人気のソーシャルメディアを組み込む。あわせて、市町村が独自に力を入れるページを設け、各市町村自身の必要性により更新できる設計とし、市町村情報を充実させるとともに、移住者等が必要とする仕事や教育などの情報も厚く紹介していく。

また、移住の成功例だけでなく、移



新型交通サービスの普及に向けた取り組みを調査 (北海道函館市)

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、十月一日、二日に平成三十年度一般会計補正予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行い、十月五日の本会議で、各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。また、議会議場中には、県外で先進事例の調査を行いました。

農政産業観光委員会

委員長 永井 学



外国人留学生就活応援 ポータルサイト構築事業費

問 外国人留学生が本県で就職活動をするにあたって容易に情報収集できる環境を整備するためにポータルサイトを立ち上げるとのことだが、外国人留学生をターゲットとする理由は何か。また、この事業が県内企業の人材確保にどのようにつながっていくのか。

答 若者の県内定着などに係る事業は既にさまざまな形で進んでいるが、全国的な景気回復基調や少子高齢化を背景とした人手不足、若者の強い東京圏や大企業志向もあり、県内企業における人材確保が非常に難しくなっている。県の行った調査において、多くの県内企業が外国人留学生の採用に高い

【その他の主な質問事項】
・山梨県議会議員及び山梨県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件
・山梨県個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例中改正の件



ICTを活用した鳥獣被害対策システムを調査 (長崎県五島市)

意欲、関心を示していることを踏まえ、外国人留学生を有望なターゲットとして県内企業の人材確保を支援することとした。このポータルサイトの構築を通して外国人留学生の県内就職の促進・強化を図る中で、幅広い人材確保につながってほしい。

【その他の主な質問事項】
・産業集積促進助成金

子どもの心のケア 総合拠点整備事業費

問 今回予算計上しているシンポジウムの開催やリーフレットの作成の具体的な内容と目的はどのようなものか。

答 シンポジウムは、子どもの心の問題を専門とする医師による基調講演や医療・福祉・教育等関係者によるパネルディスカッションを予定しており、いずれも、身近な地域での支援体制の構築に繋がる内容とした。

また、シンポジウムが一過性のも

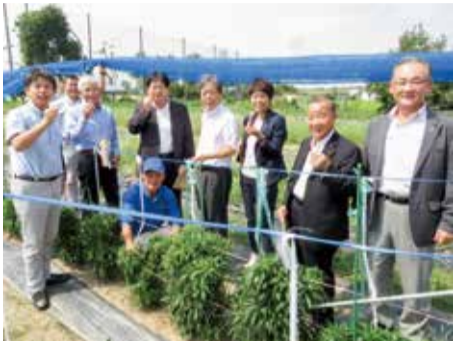
のとならないよう、総合拠点の役割

教育厚生委員会

委員長 桜本 広樹



【その他の主な質問事項】
・不登校対策検討事業費
・公立高等学校授業料不徴収交付金返還金
・訪問薬剤管理指導推進事業費



農福連携を軸とした障害者の就業支援を調査 (京都府京田辺市)

問題について周知を図るとともに、子どもの心のケアに関する支援体制の整備を加速させていく。

東京オリンピック自転車競技 ロードレースコース整備事業費

問 整備を行う目的と具体的な整備内容は何か。また、整備には県費を充てることだが、オリンピックは国家プロジェクトであり、国道補修でもあるのだから、国費を充てるべきではないのか。

答 オリンピック大会で要求される施設水準を満たすだけではなく、競技では富士北麓を走行することから、世界遺産富士山や周辺の美しい風景に相応しいコースとなるよう、路面舗装や、樹木の枝打ち及びガードパイプへの変更、側溝の改修など、競技コースとなる道路の環境整備を行う。

また、国にオリンピック大会の整備の

土木森林環境委員会

委員長 大柴 邦彦



官民連携による中心市街地の開発と御殿堰整備状況を調査 (山形県山形市)

【その他の主な質問事項】
・森林居住環境整備事業費等の繰越明許費

ための補助制度がないこと、明年度当初予算では、来夏のテストイベントに合わないことなどを勘案し、県単独費で対応することとしたが、今後については、国に対し予算措置を要望していく。

決算特別委員会を設置

平成二十九年度山梨県一般会計と特別会計の歳入歳出決算の内容及び平成二十九年度公営企業会計(県企業局の電気事業、温泉事業、地域振興事業)の決算内容を審査する「決算特別委員会」が九月二十八日の本会議で設置されました。

同委員会では、議会閉会後も継続して各会計の審査を行い、その結果を次の定例会で報告する予定です。



委員長		渡辺 英機	
副委員長		佐藤 茂樹	
浅川 力三	石井 脩徳	白壁 賢一	大柴 邦彦
塩澤 浩	永井 学	渡辺 淳也	乙黒 泰樹
早川 浩	水岸富美男	清水喜美男	古屋 雅夫
小越 智子			

決算特別委員会録画映像のインターネット配信開始

県民に開かれた議会の実現のため、本年九月定例会で設置した決算特別委員会の総括審査の様子(録画映像)をインターネットで配信します。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末等で視聴できますので、ぜひご覧ください。



高校生議会を開催

選挙権年齢が「満十八歳以上」に引き下げられたことを踏まえ、県政や県議会に対する理解・関心を深めることを目的に、本県の次代を担う高校生が、県議会の本会議を体験する高校生議会を開催しました。
今回が初めての開催となる高校生議会には、県内の高等学校・特別支援学校の四十八校から七十人が参加し、東京オリンピック・パラリンピックへの対応、若者の県内定着に向けた対策、県立学校へのエアコンの設置、障害者福祉や子育て対策など多岐にわたる質問が行われました。



議場での生徒の様子

指定管理施設・出資法人調査特別委員会

六月定例会で設置した指定管理施設・出資法人調査特別委員会（山田一功委員長）は、閉会中に四十九の指定管理施設と県が資本金等の四分の一以上を出資している二十八の法人を対象に経営状況等の調査を行いました。調査結果については、九月定例会の開会日の本会議で委員長が報告しました。



八代射撃場を調査する委員

県産木材利用促進条例案作成委員会

県産木材利用促進条例案作成委員会（鈴木幹夫委員長）は、既に県産木材の利用促進のための条例を策定している宮城県及び栃木県の両議会を訪問し、両県の制定までの経緯や条例の特徴、制定に際して課題となったこと等について調査を行いました。



調査に参加した委員（栃木県庁）

新たな議員連盟の設立

新たな議員連盟として「太陽光発電設備の適正化に関する山梨県議会議員連盟」が設立されました。

この議員連盟は、日照時間に恵まれた本県において、急激に拡大している太陽光発電設備について、適正な導入と持続管理を図る取り組みを行うことにより、災害の防止、本県の豊かな自然環境と美しい景観の保全に寄与することを目的としています。

今後、議員十名からなる研究委員会により調査・研究等を進めていく予定です。

鳥獣被害対策政策提言検証委員会

鳥獣被害対策政策提言検証委員会（望月勝委員長）は、鳥獣被害対策において先進的な取り組みをしている長野県塩尻市で調査を行いました。塩尻市役所ではセンサーネットワークによる鳥獣被害対策の取り組みについて説明を受け、質疑や意見交換を行いました。



捕獲センサーについて説明を受ける委員（長野県塩尻市役所）

12月定例会の予定

12月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催を実施する予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- 12月 3日(月) 本会議(開会)
- 6日(木) 本会議(質疑・質問)
- 7日(金) 本会議(質疑・質問)
- 10日(月) 本会議(質疑・質問)
- 11日(火) 本会議(質疑・質問)
- 12日(水) 常任委員会
- 13日(木) 常任委員会
- 14日(金) 常任委員会
- 18日(火) 本会議(閉会)

現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。